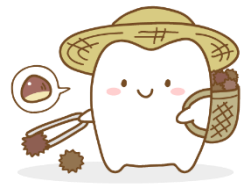


11月8日はいい歯の日です!!

子どもの窒息と誤嚥に注意!!



～食べ方や食べ物の形態に気を付けて～

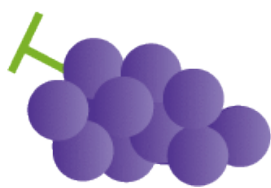
子どもは5～6ヶ月頃になると、手にしたものは何でも口に運ぶようになります。しかし、食べる機能が発達段階にあり、歯でかみ切る、臼歯ですりつぶすなどの機能が未熟なため、大人と同じように食べて飲み込むことができません。また、口の中や、気管も狭いため、小さなものでも窒息や誤嚥の原因になる場合があります。

～どんなものに注意が必要なの?～

丸くて小さなコロんとした食べ物が危険です。切って与えるなどの工夫をしましょう。ピーナッツや豆類は窒息の原因になるだけでなく、誤嚥しやすいため、それらを含んだ煎餅なども、乳幼児には与えないように気をつけましょう。パンなども、あわてて口いっぱい押し込んだりすると、窒息の危険があります。食べ物以外では、スーパーボールなどのおもちゃにも注意が必要です。



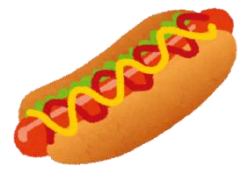
ミニトマト



ぶどう



ピーナッツ



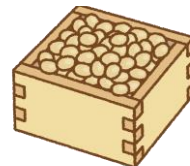
パン



飴玉



グミ



豆類



スーパーボール

～こどもが安全に食べるために気を付けること～

★ 食べることに集中させる

- 遊びながら食べさせない。
- 食べ物を口に入れたまま会話をしない。
- 食べている時に子どもを驚かせない。
- 寝転んだり、歩いたり、自転車に乗ったりしながら食べさせない。

★ 食事中は大人が見守る

- 口への詰め込みすぎに気を付けて、一口の適量を覚えさせながら介助する。
- 早食いをしている場合は、よく噛んでゆっくり食べるように声かけする。

★ 食べ物を成長段階にあわせて、食べやすい大きさや、形態にする

